

中和田教会たより

昭和五十三年二月二十日
戸塚区甲田町二七〇一 Tel 803-6141
中和田教会広報委員発行

四旬節・愛の運動

主任司祭 宮下 神文

灰の水曜日(二月二十三日)から四旬節になります。日頃、神様や、憐人自分に対して、愛の不足がう犯した、過ちを悔いあらため、償をささげる季節です。

以前は、四旬節の大倉、小倉が、犠牲、償いのわざでした。新しい典礼は、それを各自にゆだねました。日本司教団は、四旬節中つづきのいの業、犠牲と云う信心業を隣人への愛の業として、献金を行う様に定めました。そして此の金は、国内の心身障害者に送

られます。横浜教区では、

富士聖ヨハネ学園 精導見
唐池学園 精導後産
等に配分されます。この四旬節中、愛の運動よりいかに協力していきましょう。

「水は火を消し、施しは罪を消す。」

恵みで報いる人は、自分の未手に備え、倒れる日に支えを見つかるだろう。

集金より書き、30分



より一層の御協力を願います。

一、五十二年度建設資金收支報告と建設資金返済計画 (甲斐委員)

中和田・戸塚・両教会の建設費の返債です。信託受益金を、仰ぐ等により完了時期が一年早くになりました。(五十七年)

中和田教会運営規定

(東京委員長)

現行の戸塚教会規定をもとに、中和田教会に別して規定にし、教会が円滑に運営される発展する様に協力をお願いします。

尚、運営規定、決算、予算報告、一粒会、愛の献金、行事、計畫等は後日、配布いたします。 文責、福島

北年会

一月十六日、又時三ツ后、新年会を行いました。二十名以上出席され、ばいやるか、うち、親睦を深めることが、おもしろい。

次回集金 二月二十日、九時三ツ后に行きます。

婦人会たより

記録的なし、次々に整く程が、喜んでおられます。皆様には、お喜びの、お返しをしようかと、一自心、いこうと、風邪を召しおせんよう、御大事にしてください。

二月十三日、例会が、おこいまして、大勢の御出席ありがとうございました。その折、神文様のお話、お聞きしました。この婦人会の活動が、いつも愛に

信徒総会開催される

一月三十日、又時三ツ后、五十二年度の運営と決める信徒総会が行われました。

出席者三十四名(委任状十二) 神文様、挨拶に続いて、議長、長田、位田氏、石井氏、書記、福島氏、阿部映子さんが選出され、式次第により、審議され、一部質疑応答があり、全項目とも承認された。

一、五十二年度会計報告

五十二年度予算(甲斐委員) 予算を大甲に越す収入があり、皆様の御協力によるもので感謝致します。しかして、五十二年度予算における司教をより、補助・物価の上昇等を考慮すると、安心出来る状態ではありおせん。

満ちたものがあり、それ、く、の相手に、キリスト様、い、ご、やると考える事によって、自分の我を、おさへ、相手を考え、協力していく。これが、婦人会の、素直な、発展の力となる。との御挨拶を頂きました。又、新たに同心して、この御言葉を、かみしめ、ま、り、お、知、ら、せ、ま、し、よ、う。

◎ 灰の水曜日 二月二十三日(水)

午後七時三十分より、灰の視別と御ミサが、おこなわれます。

◎ 十字架の遊行

二月二十五日(金)から四旬節中、毎週金曜日、午前十時より、バザール、祈りの会、を行います。

◎ 婦人会活動の収入の使徒に

昨年度より、い、ろ、く、な、行、事、の、収、入

で、教会の備品をとりついで、皆様の御意見を伺いまして、大体電気オーブン一名という事になりまして、近く購入する予定です。

◎巨木鍋の講習会についで
多数の御希望もあり、これも同じ合セ作りです。

◎婦人会名簿作成についで
新しく作りたと思っております。まだ印入会してない方、又、住所変更の方は、早目にお申出で下さい。
文責、山岸

四国会から

去る一月九日(日)に上大岡にあるカトリックセンターで横浜教区の中、高生のためミサが行われました。四国会からは、戸塚、甲和野教会から併せて、20名程参加し、他に大塚、藤沢、二保川、などの教会から全部で200人

もの人教で「平和」をテーマにミサをさげました。

このミサの目的は、ミサにあずかる喜びを知るという事で、形式より内容重視の感想でした。聖歌はどこの教会で作ったフォックスソングで、ターを伴奏にみんなうたいました。又、ミサの奥に感謝の奥礼、なごそれ、ぐいん、意味、もつ、か、と、か、いん、気持で祈った、より、か、等、神々様の説明がありました。そんなことでミサについて少しはわかってきたような気がします。そして、今年、決心を書いた紙を出して祝福してもらいました。とにかく感動するばかり……ミサの後、雙葉と清泉の人たちのハレルヤ、ゴラスを聴いた、と、全員で交歓会のようなものをやりました。よその教会の全員の知らぬ人との友達になつたりして楽しいとき

でした。話しがはずんでなかく帰るうしろ、人までほほいでした。この様をことは、これからまた年に何回かやるという事なので、この次はもっと多くの人が集まることを期待しております。今回参加した人は、かぎり有意義に過ごして下さるのでは、ないでしょうか。

この会も準備するうちに、所々、下された方々に神様の豊かな恵みをお祈り致します。
文責、八乙女恵理

◎灰の日曜日

二月二十三日(水)
(大青、小春日)
午後七時半より、灰の式とミサ聖祭。
◎十字架の遊行(三十五回金)
午後七時半より行います

中和田教会だより

号 昭和三十二年一月二十九日
 19 戸塚区中和田町三三ノ一
 オ 中和田教会広報委員会発行

聖信の日を過えるに
 あたりて

主任司祭
 宮下 神文

来る四月三十日に、荒井司教様
 によって、聖信の秘跡が行われるこ
 とになりました。
 洗礼によって、神の子となり聖霊
 の賜をいただけるが、聖信によつ
 て、なご一層、豊かな聖霊の賜が与
 えられ、神の子として生きる智慧
 と力をいただくことができます。
 信仰は、神様が与えていただける
 恵みです。ルイラルマン師は、永い
 年月、信者として、生活して居なが

ら、少しも聖霊の恵みと生活に現
 わざり、者か、あります。これは神の
 恩恵をもつて居る神の子であること
 を考へ、心から、こころをこめて居ります。
 神の恩恵を毎日生活にあづか
 模範的な聖人は、幼きイエスの聖
 テシテアです。此の聖女は毎日の出来
 事をも、いつも信仰にまわして、考え
 神様の思召に叶うように、心をつ
 かいました。祈る時も、仕事をす
 時も、勉強する時も、愉快な時も思
 うように、なご、時も、いつもイエス
 様の心に入ると、考へて、信仰によつて
 行動いたしました。
 まに、聖信を受け、心から、こころをこ

生以上の方は、受ける準備を
 して下さる。既に受け居る方々
 も、聖霊の恵みと賜を思い、神の
 霊の導きか、生活に現われるよう
 に、つとめよう。
 今年も、又、聖霊に満ちた年
 であります様に、

祝 洗 礼 (クリスマス)
 下、下山 渉(幼)
 坂本 町一(幼)
 ルカ、大田 岳文(幼)
 大和田 福田(三ハロー六
 おめごと、ごきげんよう。

転入、よろしくお願ひします。
 マリア、楠田 恵美子(婦)
 ドミニコ、" 兼 浩 (小)
 マリア、" 美和 (幼)
 藤ヶ丘 教会より
 住所、和泉町 四、三六八ノ六

信徒総会報告

中和田教会の二年間の運営を決定
 する。信徒総会が一月二十二日九時
 ミサウと行われ、出席者三十五名
 皆最近熱心に討議され、昨年度
 の活動報告と本年度の運営方針
 が決定されました。

議 事

- 一、議長、書記の送致
- 二、議長、位田(性)書記、佐藤(性)議長、位田(性)書記、阿部(性)議長
- 一、一般報告(東京教会委員長)
 去年の活動報告と本年度の方
 針が報告された。
- 一、五十二年度会計報告
 (甲斐財務委員)
 賛成多数で可決された。
- 一、一般報告(山野寺一教会委員)
 横浜教区の一教会の活動状況
 及び、中和田教会の五十二年度の

献金、状況が報告された。
 邦人司教、育成のために多くの人
 員となり、下さる様協力をお願い
 五十二年度、会員数、六十二名
 献金総額、十三万五千八百円
 一、会計監査報告
 (富田、古田 監査員)

- 一、会計不明な夫が、報告
 備品名帳の整備を指摘された。
 五十三年度予算審議及採決
 質疑応答のうち、賛成多数で
 可決された。
 (甲斐財務委員)
- 一、愛の献金報告(甲斐財務委員)
 毎月の月定献金と一緒に、献金
 にも、年六回の献金日に特別
 献金と併せて本部に送り、
 一、教会建設資金、運営状況報告
 (甲斐建設委員)
 本年度より、教会債の返済が始まります。

一、中和田教会委員会委員選出
 六名の委員(佐藤広報委員が転出)の
 任期(二年間)満了にともなう、委員
 の選挙が行われ、
 推選委員会より推選された七名
 が全員承認された。

- 一、新委員の紹介 (アイエオ順)
 甲斐 至信(再任) 小林 行男(新)
 東京 秀夫(再) 七 彌 隆吉(新)
 萩原 昌弘(再) 花坂 洋一(再)
 福島 清(再)
 次の二名の委員が退任されました。
 佐藤 信郎(副委員長 建設委員)
 真中 邦明(子供会委員)
 (各委員の分担は二月の委員会
 決まっています)
- 一、宮下 神文 様、挨拶
- 一、閉会、東京委員より閉会
 挨拶
 決算、予算、愛の献金報告は、後日
 お知らせ致します。

中和田教会たより

昭和五十二年二月十九日
20号
戸塚区甲田町ニエロー
中和田教会広報委員発行

御変容のイエス様

主任司祭

宮下 神文

ペトロとヤコブとヨハネの三人の弟子は、イエス様のあとをついて、高い山へ登った。(マテ山) 祈りをしているとき、イエス様のお姿が変わり、御顔は白く如く、白く光りかがやき、モーゼとエリヤがあらわれて、イエス様の御姿を御死後についで、話して居られた。そのうちに輝く雲に上つた。雲の中から「此れは私の心よ此ばせる私の愛する子である。―皆、此の者かかききなさい」と云う神の音が聞えた。弟子は恐れおそえて地に倒れ伏してしまった。イエス様は、弟子達に恐れることはない。但し、今、見ると、私が死して復活するまで

誰れにも話してはいけなうときびしくいましめられた。

此の出来事は、イエス様が御自分の御苦難、御死去、をみても、弟子が信仰を失わぬように、心の準備をさせる為であったと云われて居ります。

イエス様は、神様の御望みのまに地上の生活を送られました。シマ小屋の赤ん坊の時も、大工の仕事の時も、あつたれ、十字架の上で御死去になる時も、神様の目から見ると、此の上もなく愛される神の子であつたのです。天主、御入りお望みによつて、御死去になつたイエス様は、三日目に復活して、光榮ある本来の御姿をもつて、今、天に於いて、神の右に座して、すべてを支配し居られます。イエス様は最後のほんご

の時、弟子に向つて「あなた方は、私から出たものであることを信じて居るが、天の神様は、あなた方を愛して居られます」と云われ、比喩を以て、今、私はイエス様は神の子であることと信じて居りますと申し上げ、その信仰をもつて居る方、あなた方は皆、神様の愛を以て居るのです。これは、最もありがた、なごきめになるイエス様の御言葉です。このイエス様の御言葉によつて、初遭の常に慰められる様に、イエス様は神の子であることと信じて、心の中、御申し上げよう。

以上

転入者、よろしくお願ひします。
マリテレシア、 中和田子(婦)
ヨセフ、 龍門(小)
マリア、 瑞穂(幼)

住所、坂沢町一八四八一

行方、

一月度会計報告

次回集金、三月十日の予定

聖信式

荒井司教様可式のものに
四月三十日(日)行われ、
受け方は、申込表にお書き下さる、準備の日時、ばす、
お忘れなす。

聖週間の典礼

枝のまじり、日曜日、九時、十一時
聖木曜日、午後七時より
聖金曜日、
聖土曜日、
四旬節中の毎週金曜日、午前
十時より十字架の道行が行われます。

撞と御協力を願ひ申し上げ、次ぎ

教会奉養会報告

二月十日(金)夜、七時半より女子部にて、
ついで、話し合いました。

- 一、教会役員の担当が左の様に決まり、
委員長、 パフロ、 東原秀夫
副委員長、 パフロ、 萩原政弘
(典礼補佐)
職務委員、 アンセルモ、 甲斐至信
(建設、設備、管轄)
典礼委員、 バルナバ、 小林行男
広報委員、 ステファノ、 七浦鑑吉
行事委員、 ナタリア、 花坂洋一
布教委員、 ジョアンネ、 福島 清

一、年間運営について

賦格状態について、委員長より、自是献金の増額について、日曜日に信者の皆様へ、話す。その他、財政不足は、半年の収益金で、補う。

一、壮年会、婦人会より定期的連絡を

パフロ、東原秀夫

教会建立以来、四年をえて、神々様

をはじめ、信者各位の御協力により、遅々ではあります、諸整備も進んでまいりました。即同慶に耐えませぬ、然し折りにふり、申し上げてまいりました通り、財政基盤は、脆弱であり、又諸活動においても、急ぎをばなれぬことは、数多くあります。今、各共、皆で手を取り合つて、前進してまいり、度々と存じ、抱負を云うには、大袈裟ですが、日々の生活の中で、荒さみ勝ちな心の安らぎと憩の場、本当にこれなく、くつろげる暇が、空田気の教会、その様な中、和田教会づくりの努力に、おこがましい、厳しい、寒さの中、沈下花の蕾に、ふかみを感じ、この頃です。希望をもつて、春の訪れを待ち、と思ひます。不承者ですが、今、各共、皆、御鞭

中和田教会だより

昭和三十二年四月二十四日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会 広報委員 発行

聖母マリア様のみ言葉

(最近イタリアの或る司祭に告げられたもの)

主任司祭

宮下 神父

昨日まで最も忠実で、また確かと思われていたものが、倒れるのを見て驚かなくてください。自分を先生として自慢している人でさえも、倒れるのを見るでしょう。

此の戦に於て、私が与へた武器を使うことを知らないし、また望まなかつた人々が、みんな倒れても驚かないでください。此の武器は、森林で隠匿な祈り、私の聖なるロザリオです。それは私の祈りです、なぜなら私といつしよに、私を通して作られた祈りだからです。これは教会からすめられ、私が最も愛している子の子、わが子イエズスの代理司祭からも母なる私の心を感動させた言葉によって、すめられていきます。

それで今は悪魔の誘惑に抵抗するため、又私のあわれな子らの中に常に増大して行く背教に對抗するために、おん父があなた方に与へる大切な救いのてだてを俵う時です。私の活れなき心に自分を奉獻してください。私の活れなき心、この世の誤謬からの救いと、永遠のたすかりを約束します。

門出の前に

四月会 学連 森 勝

中和田四月会こと中和田中高生の会は、従来の戸塚四月会合同活動から、一昨年五月より高校生は横浜教区カトリック学生連盟に加入し、又、今春からは角井淳一君を会長とした中学四月会が八乙女さん指導のもとで新たに活動していくことになりました。

これは、四月会の中の中和田が戸塚区内の教会から横浜教区へと目を開けるよう考えられたもので高校の部は、学生連盟の一員として黙徳会、教区大会などの行事に参加し、中学の方は戸塚の献成会等に参加しつつ独自の例会を開いていくことを考えています。

しかし、それをさまたげる何かがあります。それは、何を始めるにしても私たちの心の底には、未知への不安があることです。でも、その不安をのりこえ目標に到達した時に、ほんとうにすばらしいものとなるのではないでしょう。

今私たちは学連のこと、何も知りませんが、も横浜教区には、何十人何百人の学生がいるのは事実です。その中には、私たちと意見が、ちがう人もたくさんいます。そんな

な人と語りあえたら……と私たちみんなが願っているはずで、中和田という小教区の四月会が立ち上がるには、僕たちの自主的な活動が必要で、そのために、お父さま方お母さま方の多くの理解と暖かい声援をお祈りしております。

学連の祈り

全能永遠にまします天主

願わくは

聖霊まつかわし給いてこの集いませし

我等をして主の善徳にならわしめ

愛と忠実と派き謙遜とをもちてすべての言葉と活動とを御身の御栄えのために捧ぐるを祈しめ給え

われらの主キリストによりて

アーメン

転入者紹介

どうぞ、よろしく

マリア・テレジア

森谷 真由美

上飯田町 一九八七

委員会報告

四月七日(金) 開催、次の事項について話し合いました。

(一) バザーの件について

今年のバザー開催予定日について戸塚教

五月 先唱者

待 着

七日	奥村	萩原	石井
十四日	富田	小野寺	石川
二十一日	七浦	川原	萩原
二十八日	楠倉	小林	石川

おねがい

月報の原稿を募集致します。毎月十五日を締切日と致します。御意見感想文等、何でも結構です。皆様と一緒に充実した月報に育て上げていきたいと思致します。御協力をおねがいます。原稿の提出は広報担当七浦まで

- (一) 会のバザー開催予定日(十月二十九日)との兼ねいもあり、当教会としてはバザー開催日を六月十一日と予定し、婦人会の最終同意を確保の上、準備を進める予定尚、バザー準備に關する総合連絡会(婦人会)四月会出題を五月二十六日(金)に開催予定
- (二) 堅信式について
四月三十日、午前十時より荒井司教様、御来堂のもとで堅信式を行います。
- 次回五月奉賛会予定日 五月十二日(金) 婦人会 だより
- 例会、四月十六日、出席三十名
- (一) 委員公報告が東京委員長より、ございまして。
- (二) バザーについて
日時 委員会の六月十一日(金)を賛成多数にて、了承致しました。
- 製作品、手作り品、各一点以上の御奇附をお願致します。
- 別に地区委員会にて企画の製作品として
- (1) 給食用ナプキン(しゅうじ)
- (2) 縫いぐるみ
- (3) 女兒スカート(フレアー、ギャザー)
- (4) エプロン

- (三) 焼そば
カレーライス
ちらし寿し
ホットドッグ
- などを計画しております。食券は五月中旬の発売を予定しております。
- (四) 旧約聖書を読む会が原宿の黙想の家にて行われております。毎月曜日、十一時〜一時、お弁当持ち
- (五) 婦人カトリック連盟主催、総会と研修会が東京四谷のイグナチオ教会において行われます。詳細は役員まで
- カトリック婦人同志会主催の観劇会が新橋演舞場でございます。詳細は役員まで
- 五月のこよみ
以上
- 七日 主の昇天の日
- 十四日 聖霊降臨の主日
- 二十一日 三位一体の主日
- 二十八日 キリストの聖体の日

中和田教会だより

ありがたい教え

主任司祭 宮下神父

洗礼を受けた私たちは神の子としての命と永遠に生きる恵みをいただいております。イエズスさまのみことばにより、神を愛する信者の中に三位一体の神様がおいにになっております。(ヨハネ14:13) 当イエズスさまは『あなた方は私が神から出たことを信じたから御父みずからあなた方を愛して居られると云って信者は皆、ほんとに神様から愛されて居ることを教えて下さいました。(ヨハネ16:17)』

聖パウロは、あなた方は神の聖殿であり神の霊がその中にお住いになって居るのを知らないのか、と云って信者を教えはげましております。(コリント前3:16)

神は天の遠くに居るこわいお方ではなく、私たちの心と体の中にお住いになり、私たちを見守って下さるお方です。『天に在します』の祈りを親しみまもって誦えましよう。

昭和三十二年五月二十七日
戸塚区中田町二七〇一
中和田教会 広報委員 発行

祝 聖信

四月三十日(日) 荒井司教さまによって次の方々が聖信の秘跡を受けられました。

- | | |
|-------------|--------|
| フランシスコ・アシシオ | 奥山 勝弘 |
| マリアマカエラ | 望月 ふみ代 |
| ヨハネ | 石川 元 |
| ペトロ | 富田 範保 |
| パウロ | 角井 治朗 |
| ミカエル | 阿部 敏 |
| ジャンセンシオ・パウロ | 萩原 賢司 |
| イゲナチオ | 小野寺 立広 |
| ヨゼフ | 松下 春樹 |
| エリザベト | 角井 みどり |
| マリ・ア | 川原 照美 |
| カタリナ | 山本 聖子 |
| スコラスチカ | 笠島 恵 |
| ルチヤ | 木村 泰代 |
- 以上14名

聖信の秘跡によって、キリストのからだを建てる使命に召された方々を強め、かれらが社会にキリストの希望と愛をもたらすことができまようように祈りましよう。

(3) 売場配置について
例会の折御記名いただきました通り、夫々の担当の表を貼りだしましたので、各売場毎に十分お打合せ下さいませようお願いします。

(2) 掃除係よりお願い
聖堂の掃除につきまして、いつも皆様の御協力に有難うございます。最近班長さんからの連絡が途中で途絶えたためにお迷惑をされた方やお休みを届けられない方が時々ございますので、お互いによく注意したいと思います。連絡網と同じようにお掃除のお知らせも確実にお願いいたします。当日都合のつかぬ事が前もって判っている場合は代理の方を頼み人づいでなく直接班長さんにお届け下さい。班長さんは責任上常に全体を把握する必要がありますので、尚急用や病氣などで代理の方を頼める場合でも、之は皆お互い様ですから出られる方がその分余計に御奉仕出来ることになり、ますのでどうか御慮なく御届け下さるようお願いいたします。

バザーも最後の段階を迎えました。皆様の御協力をいただきまして、只今までのところ準備も順調にとつております。もう一息のお力添えをよろしくお願い申し上げます。
以上

レジオ、マリエに おはいりになりませんか

中和田教会でレジオマリエと呼ばれる楽しい集会在毎週一回行われているのをご存知ですか。

現在七名の会員が神父さまを囲み、ロザリオの祈りとマリアさまに対する祈りをとどなえ、マリアさまの御望みにしたがって活動しております。

マリアさまを愛する信者の方ならば、どなたでもおはいりになれます。どうか一度集会を見学にいまして下さい。

また、毎週の集会に出られない方のために賛助会員と呼ばれ、家に居て祈りによって活動を助けて下さる方を探しています。詳しく知りたい方のために、レジオマリエ入門ハンドブックも用意しております。ぜひ、ご連絡下さい、お待ちしております。

集会 毎週火曜日夜七時三十分より
八時四十五分迄
連絡先 神父様、福島、花坂、まで

委員会報告

五月十二日(金) 開催、次の事項について話し合を行いました。

- (一) バザーの件
1. 出店内容について(詳細は後述)
 2. バザー抽選券の賞品について
 - 1等 餅つき 1本
 - 2等 電気スタンド 2本

中和田教会バザー

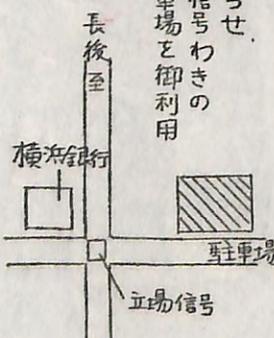
と き 昭和三十二年六月十一日(日)
と ころ カトリック中和田教会内
時 間 AM10時30分~PM1時30分

楽しいバザーを開くために次の催しものを準備しております。

- 一、洋品販売
- 二、袋小物販売
- 三、生地販売
- 四、不用品販売
- 五、手芸品販売
- 六、食 堂
 1. カレー
 2. 焼そば
 3. すし
 4. ホットドッグ
 5. ビールジュース
 6. 牛乳、アイス
 7. 焼鳥
 8. 駄菓子
- 七、豚肉の特別販売
- 八、野菜の特別販売
- 九、ゲームコーナー射的

尚、只今バザー券の発売をしております。よろしく御協力おねがい致します。

駐車場のお知らせ
当日は立場信号わきの横浜銀行駐車場を御利用下さい。



3等 ポタブルライト 3本
4等 子供の用具 4本
5等 テンユーパーパー、3000本
二、火災警報機の設置完了。
場所は正面御下の柱に取付け
(三)五月二十八日(日) 葉集会と聖体行列大会
開催、委員出席 藤原、小林、七浦
四、広報の日の献金 二万円送付
(五)会計報告(四月度)

収 入	金入金入金	1	96	2,260	2,395	9,700	11,135	5,500	1,135	04,000	2,695
入	献献献	助	収	計	越	計	越	計	越	計	越
月	定	サ	別	特	補	給	前	月	合	支	出
線	越	金	3	3	6	8	1	2	8	4	7

婦人会だより

- (一) 五月三十一日(日) 例会開催、出席二十七名
バザーについて
手作り品不用品の締切日 5月28日
尚教日はお受け致しますが一応前記の期日を御承知下さい。
奉仕日について
6/1~6/2 10時~3時 手作り品
不用品の値段つけ、整理
6/3 10時~3時 食堂関係の諸準備